

【協働学習×ICT】理解を更に深めるための協働学習の工夫

授業中に机を動かすことなく、教師や電子黒板に注目したり生徒同士で向き合って言語活動を行ったりできるように、グループの人数と机の配置を工夫します。グループ内で言語活動を行う場合、机が離れた生徒同士は会話が聞こえにくくなるため、グループの人数は3名又は4名とします。図1に実際の検証授業に用いる生徒の机の配置を、図2に学習形態によって切り替わる生徒の様子を示します。

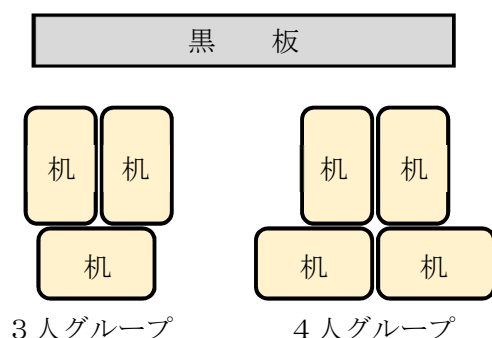


図1 生徒の机の配置

図2 生徒が一斉学習と協働学習を切り替える様子

さらに、効果的に協働学習を取り入れるため、ピア・インストラクションの技法を基に授業を組み立てます。ICTを利活用すれば、生徒が家庭学習の中でコンセプトテストを回答できるようになり、生徒の理解レベルの把握や授業展開の計画がやりやすくなります。また、時間も確保しやすくなるため、協働学習に充てる時間の確保にもつながります。ICTを組み込んだ授業展開の具体的な手順を、図3にまとめます。

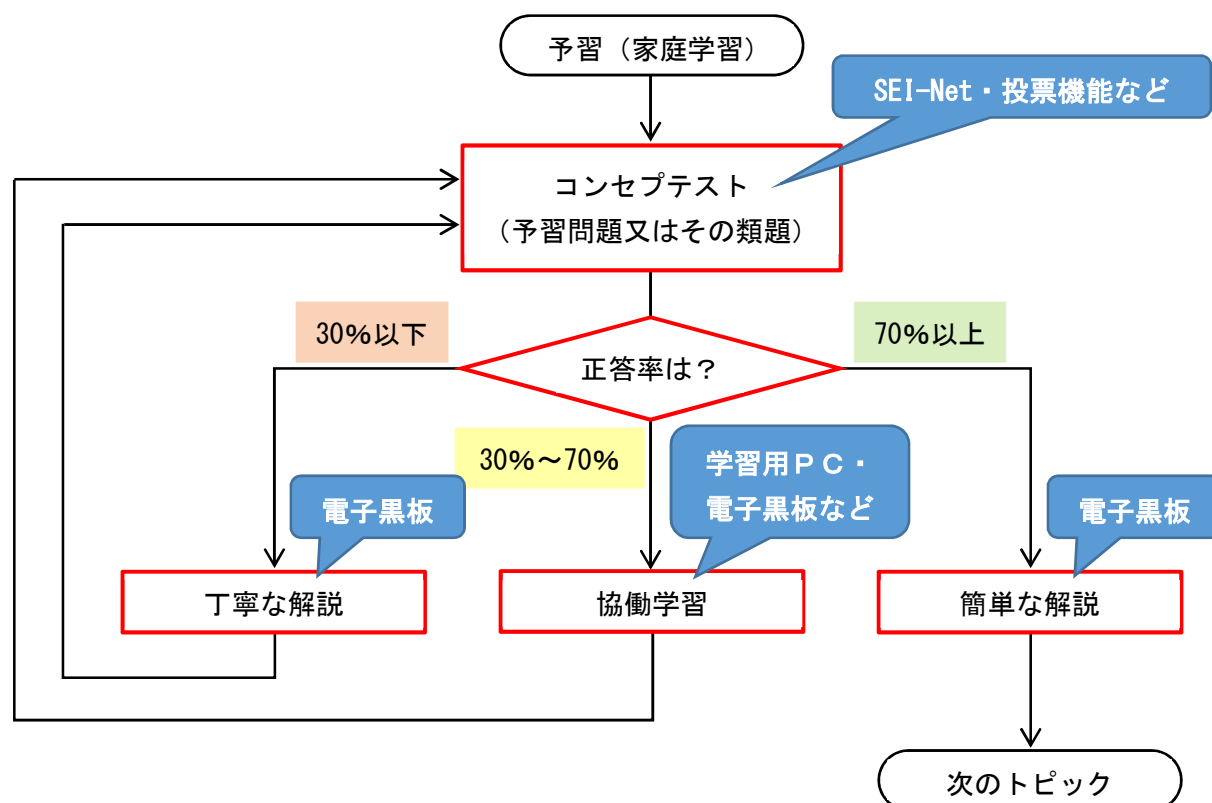


図3 ピア・インストラクションにICT利活用を組み込んだ学習活動の手順